

令和5年度

事業計画書

令和5年4月1日～令和6年3月31日



北のおぼけ箱（やまびこ座）



公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

目 次

I	経営理念	1
II	経営方針	1
III	事業計画策定の基本方針	1
	1 事業環境の変化への速やかな対応	
	2 未来ビジョンに基づくブランディングの推進	
	3 法人資源の有効活用	
	4 デジタル投資による業務変革の推進	
	5 持続的成長のための戦略的経営	
IV	事業概要	3
	1 青少年の健全育成と社会参加に関する事業	
	2 社会教育の推進に関する事業	
	3 市民活動の振興に関する事業	
	4 その他法人の目的を達成するために必要な事業	
V	SDGsの取り組み	5
VI	部門別事業計画書	7
	1 児童会館・ミニ児童会館・こども事業	〈7～10〉
	2 千歳市児童館・学童クラブ・千歳市青少年会館	〈11～12〉
	3 やまびこ座・こぐま座	〈13～14〉
	4 若者支援施設	〈15～16〉
	5 滝野自然学園・北方自然教育園	〈17～20〉
	6 定山溪自然の村・青少年山の家	〈21～24〉
	7 札幌エルプラザ公共4施設	〈25～26〉
	8 イベント事業	〈27～28〉
VII	基金事業	29
VIII	施設一覧	30
IX	機構図	31

令和5年度 事業計画

I 経営理念

「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」

II 経営方針

私たちは、多くの出会いや公益事業を通じて「つながる」よろこびを創出し、地域社会の発展や心豊かなくらしの実現を追求します。

III 事業計画策定の基本方針

1. 事業環境の変化への速やかな対応

新型コロナウイルス感染症の影響により市民ニーズの多様化・複雑化が進み、人との関わり方、取り組むべき事業、実施方法など、当財団に求められる役割も短期間で急速に変化してきている。また、近年の事業環境は、施設利用者数や事業参加者数の減少などにも一部影響が及んでおり、ポストコロナの社会を見据えた新たな行動によって施設利用者等を回復する取り組みにも注力する必要がある。人口減少や少子高齢化が進行する現社会環境下においては、現状を維持する取り組みに止まらず、新たな社会環境にも適応できる事業展開を常に模索するなど、各部門が必要な検討を行ったうえで新年度の事業計画を策定すること。

2. 未来ビジョンに基づくブランディングの推進

当財団の活動の根幹にある人との関わりが多様化、希薄化する中、地域社会の活力を維持し各種事業活動を推進させていくためには、未来ビジョンを踏まえ持続可能な社会の実現と当財団ならではの独自性の発揮を両立しながら事業を実施する必要がある。また、他の事業者と差別化された財団独自の強みや付加価値の高い事業実績を対外に積極発信し、当財団の姿勢が広く知られることは、利用者や協力団体、職員に安心感をもたらす当財団の社会的な信用を高めることに繋がることから、各部門においては、これらの観点を考慮した情報発信や広報戦略を検討した事業計画の立案を行うこと。

3. 法人資源の有効活用

複数の異なる事業領域を持つことや部門間の継続した業務連携など、当財団の強みを生かした事業展開は、今後も積極的に進める必要がある。特に事業対象が重なる事業部門においては、人材や事業ノウハウなどの人的資源に加えて、事業物品や各種情報分析、ソフトウェア等を複数の部門で共用するなど、資金等の経営資源の有効活用や最適配分に法人全体で取り組む必要がある。既存の方法に捉われない効果的な事業運営のあり方を検討すること。

4. デジタル投資による業務変革の推進

組織的なデジタル化の推進は、定型業務の最適化による業務効率の改善に止まらず、事業参加者や施設利用者の利便性の向上、事業の付加価値を高める情報の集約・蓄積に繋がるものでもあることから、財団全体で積極的に活用を推進する必要がある。各部門においては、デジタルへの置換による経済効果等も十分に検証の上、新設されたデジタル部門と連携し、既存業務のデジタル活用策の検討、戦略的なデジタル転換への取り組みを念頭に置き、事業計画を策定すること。

5. 持続的成長のための戦略的経営

当財団が実施する指定管理業務や受託業務の多くは令和5年度に新たな期間がスタートする状況にあるが、社会環境等の他動的要因によりその業績が左右される要素が多く含まれており、将来大きな変化が予測される。

各部門においては、経営的視点から事業収支をとらえ、戦略的な先行投資や新規事業収益の獲得に向けて計画を立案すること。また、請負型から提案型へ意識を転換し、必要に応じて他機関・他団体との連携強化や事業協力による外部資源の獲得、寄付金や助成金等の外部資金の調達に取り組み、事業のさらなる成長を図ること。



IV 事業概要

- 【定款第4条】 (1) 青少年の健全育成と社会参加に関する事業
(2) 社会教育の推進に関する事業

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

子ども育成事業

- (1) 青少年活動支援事業
・放課後児童クラブ事業 ・学習活動事業 ・各種講座、講習会
・劇団育成支援事業 ・インターンシップ、各種実習の受け入れ
- (2) 体験機会創出事業
・社会奉仕活動事業 ・各団体との共同開催事業
・子どもの体験活動機会を創出する事業
- (3) 施設管理運営事業
・児童会館の管理業務、貸室等 ・こども劇場の管理業務、貸室等
・千歳市青少年会館の管理業務、貸室等

若者自立支援事業

- (1) 体験機会創出事業
・自立支援プログラム、就労支援トレーニングプログラム
・交流促進事業 ・ボランティア参加事業 等
- (2) 受託事業
・地域若者サポートステーション事業（厚生労働省受託事業）等
- (3) 調査研究事業
・社会的自立に関する調査・研究事業
- (4) 施設管理運営事業
・若者支援総合センター、若者活動センターの管理業務、貸室等

自然体験活動事業

- (1) 滝野自然学園事業
・体験機会創出事業 ・職員派遣事業 ・情報発信事業
・団体支援事業 ・施設管理運営事業
- (2) 北方自然教育園事業
・体験機会創出事業 ・施設管理運営事業
- (3) 定山溪自然の村事業
・体験機会創出事業 ・施設管理運営事業
- (4) 青少年山の家事業
・体験機会創出事業 ・施設管理運営事業

【定款第4条】 (3) 市民活動の振興に関する事業

公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の振興等に関する事業

市民活動振興事業

- | | | |
|------------|------------------|-------------|
| (1) 活動支援事業 | ・ 男女共同参画啓発事業 | ・ 市民活動関連事業 |
| (2) 職員派遣事業 | ・ NPO活動支援事業 | ・ 相談 ・ 支援事業 |
| (3) 情報発信事業 | ・ 大学、高等学校他への職員派遣 | |
| | ・ 各種情報誌の発行事業 | |

【定款第4条】 (4) その他法人の目的を達成するために必要な事業

収1 イベント・物品貸与等事業

- ・ 民間企業等から受託したイベント企画運営等事業
- ・ 物品貸与等事業

他1 札幌エルプラザ等施設管理運営、
公益目的外での施設貸与事業

- ・ 札幌エルプラザ公共4施設、定山溪自然の村、青少年山の家の管理運営
- ・ こども劇場、若者支援施設における公益目的外での施設貸与事業

V SDG s の取り組み

多くの人たちと
よりよい未来を叶えていこう。



SDG s（持続可能な開発目標）とは

SDG s（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDG s）の後継として、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。17のゴール、169のターゲットから構成されており、これらは、政府・企業・自治体・そして私たち一人ひとりが、未来の世界をより良くするために協力しあい「誰も置き去りにしない」世界を目指すための行動目標です。

活動協会が取り組むSDG s

活動協会では、これまで、子どもから大人まで、さまざまな方を対象に、学習機会や自然体験に関わる機会の提供、生活困窮世帯への支援、ジェンダー平等や自然環境の保全に向けた啓発活動など、幅広い活動を行ってきました。これらの事業活動を通して目指すものは、国連が定める「SDG s」が目指すものと同じ「よりよい社会の実現」です。そのため、私たちが事業の発展に向けて邁進することそのものが、SDG sの達成に直接つながると考えています。

また、当財団では、令和5年度より経営方針として『私たちは、多くの出会いや公益事業を通じて「つながる」よろこびを創出し、地域社会の発展や心豊かなくらしの実現を追求します。』を据えました。SDG sの達成に向けて取り組む多くの人とともに、未来の社会がよりよくあるためにできることを考え、実現していくことを目指していきます。



4つの事業とSDGs

ここでは、当財団が取り組む4つの事業と特に関連性のあるゴールを示しています。

青少年の健全育成と社会参加に関する事業



児童会館・ミニ児童会館 子ども若者に関する事業
千歳市児童館・学童クラブ 千歳市青少年会館
やまびこ座・こぐま座 若者支援施設 滝野自然学園

私たちは子どもたちの学びをサポートする事業を通して、家庭環境に左右されない学習機会の創出します。また、自然の中での体験機会を創出し、環境保全意識の醸成と、豊かな人間性の発達に貢献します。

社会教育の推進に関する事業



北方自然教育園 定山溪自然の村 青少年山の家

自然環境の中では、自ら考え、生み出す力が養われると考えています。必要なものを必要なだけ用意することや、そのための仕組みづくりなど、料理や工作、農業体験を通して行う社会教育は、持続可能な生活様式への気付きを促します。

市民活動の振興に関する事業



札幌エルプラザ公共4施設

1980年の創設時から、社会に関わる全員が平等に能力を発揮できる社会を目指して活動してきました。これは、ジェンダー平等を謳うSDGsの理念と同じ考え方であり、私たちが目指す社会のあり方そのものでもあります。これからも、誰もが活躍できる社会の創出に、機会や場所の提供で貢献していきます。

その他法人の目的を達成するために必要な事業



イベント事業

受託したイベントや自主企画の事業、広報事業や調査・研究事業を通して、市民の生活をより豊かにする取り組みを実施しています。SDGsの目標達成に向けて、行政・民間企業・市民との良好なパートナーシップのもとに持続的な活動を行えるよう取り組みます。

VI 部門別事業計画書

こども育成課

札幌市児童会館・ミニ児童会館



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

事業方針

街とともに 未来を育む 人づくり

第5期指定管理運営基本方針を令和5年度の事業方針とし、児童会館の持つ多機能性を最大限に活用しながら、地域住民や市民の協力のもと、子育ての活動拠点施設として児童の健全育成と社会課題の解決の双方に寄与する事業を展開する。子どもの意見を反映させ、子どもとともに進める会館運営を行い、多様性を認め合いながら自分らしく過ごせる環境を整え、子ども同士が互いに協力しあえる活動を目指す。また、専門機関や財団他部門との連携を強化し、エキスパートの育成を行う。

これまでの運営ノウハウを礎に、新たな時代やニーズに即した運営方法の確立を目指しながら効果的、効率的な組織運営を進めるとともに、より創造的な経費の活用を目指す。

重点目標

地域活動等事業

□札幌まなびのサポート事業実施をととした居場所の確立

学習習慣を身に付けるとともに、基礎的な学力の向上を図り、高校進学を促進する。また、実施日以外の継続利用に向けた取り組みを拡充し、中高校生の居場所としての児童会館のあり方を確立していく。また、将来的な学習支援事業のあり方や目標を設定し、達成に向けて着実に進める期間としていく。

施設運営等事業

□子どもをまんやかに据えた、子ども視点の児童会館運営を行う。

□敷居の低い施設を目指し、福祉機能の強化を図る。

□あそびや体験活動機会の充実を図る。

□地域連携の再構築を図る。

□時代に求められるニーズの把握と活用の検討を行う。

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数

令和5年度	3,300,000人	令和4年度	3,217,210人
-------	------------	-------	------------

②事業プログラム参加者総数

令和5年度	550,000人	令和4年度	540,000人
-------	----------	-------	----------

③利用者アンケートにおける満足度

令和5年度	80%	令和4年度	87.9%
-------	-----	-------	-------

【部門目標】

①地域交流事業の実施（新規）

令和5年度	400回
-------	------

②地域ボランティアの受入れ回数（新規）

令和5年度	2,400回
-------	--------

③子どもの意見を反映した事業運営（新規）

令和5年度	2,400回
-------	--------

④自然体験活動の実施

令和5年度	2,000回	令和4年度	2,124回
-------	--------	-------	--------

⑤利用者に対する相談援助業務（新規）

令和5年度	2,400回
-------	--------

事業内容	時期・回数
<p>1 青少年活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ事業 ・学習支援事業（札幌まなびのサポート事業「まなべえ」） ・中・高校生夜間利用等運営事業「ふり→たいむ」 ・子育てサロン事業 ・児童会館実習指導業務 ・他課連携事業 ・子ども運営委員会 <p>2 体験機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会・発表会（各種講座・クラブ活動発表会等） ・鑑賞会（人形劇、読み聞かせ、映画、ビデオ上映等） ・社会奉仕活動（ゴミ拾い、施設訪問、防犯活動等） ・交流事業（世代間・地域交流等） ・リーダー育成事業 ・季節行事・パーティー（歳時事業、お祭り等） ・野外・自然体験活動（キャンプ事業、畑づくり、遠足、登山等） ・伝統芸能活動（伝承あそび、茶道・将棋・華道教室等） ・体力増進・スポーツ（ダンス、かたき、サッカー、一輪車等） ・学習活動 ・創作活動 ・読書活動 ・環境活動 ・合同事業 ・他都市連携 ・外部連携事業 ・周年事業 ・広報活動 ・子どもの権利推進事業 ・あそびのフェスティバル <p>3 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理事業等 	<p>※実施時期・回数については各会館により異なるため省略</p>

札幌市児童会館・ミニ児童会館

×

SDGs

1 貧困をなくそう



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう







事業方針

**すべての子ども・若者が居場所を持つための支援や機会づくりのために、
部門間または社会のつなぎ手として機能していく**

第5期札幌市児童会館指定管理業務基本方針のもと、社会や法人内のつなぎ手としての自覚を持ち、資金や賛同を獲得しながら「求められること」に専門性や経験知で応えることにより、子ども・若者が居場所を持つための支援や機会づくりを進める。併せて、児童会館事業の多機能化やこれからの社会において必要とされる取り組みの広がりを見据え、調査と実証実験的な事業展開にも着手する。

**こども若者事業部の基幹部・バックオフィスとして機能することにより
管理部門の強化を行う**

予算執行・施設運営支援については効率的運用に注力するだけでなく、部門内の基幹部として会計業務の適正化、ICT環境等の情報集約・蓄積、施設管理業務の計画実施等を進め、中期的な運営戦略の策定を行う。

重点目標

地域活動等事業

- 子ども・若者支援推進のため、行政機関や関係組織との連携を基礎とした取り組みを実施
 - ・ヤングケアラー交流サロン事業
 - ・子どものくらし支援コーディネート事業
 - ・札幌まなびのサポート事業

施設運営等事業

- 外部組織等との連携強化による専門性及び即時的支援の強化を図る。
法人関連外部NPO等や、各種企業・行政機関・市民との協働により、即時的・継続的支援の推進や学習効果の高い事業を実施する。
- 業務管理の強化により部門内の施設及び事業の効果の最大化を図る。
 - i) 市民及び利用者ニーズに即した施設環境整備を進め市民還元を進める。
 - ii) 各施設の特性に合わせたデジタル技術の導入と効率的運営を推進する。
 - iii) 災害等の事業継続計画及び実施体制を確立する。

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①事業プログラム参加者総数

令和5年度	4,000人	令和4年度	4,631人
-------	--------	-------	--------

②利用者アンケートにおける満足度

令和5年度	90%	令和4年度	98%
-------	-----	-------	-----

【部門目標】各種企業・団体等新規関連ネットワーク団体との連携

令和5年度	15団体	令和4年度	15団体
-------	------	-------	------

事業内容	時期・回数
1 青少年活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー交流サロン事業 ・子どものくらし支援コーディネート事業 ・学習支援事業（札幌まなびのサポート事業「まなべえ」） 	4～3月 12回 通年 10区 87エリア 通年 40会場／48回程度
2 体験機会創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・体験機会フォロー事業 ・他課連携事業 ・関連機関・団体連携事業 ・調査・研究事業 	通年 5件 1,500名 通年 通年 通年

こども事業
×
SDGs

1 貧困をなくそう


4 質の高い教育をみんなに


11 住み続けられるまちづくりを


17 パートナーシップで目標を達成しよう




事業方針

子ども・若者まんなかのちとせ（居場所）づくり～つながりからチームへ～

子ども・若者が主役であるとともに、子ども・若者を中心に置いた運営を心掛け、千歳の地域資源、社会資源とのつながりを深化させ、企業、関連団体等とチームとして協働で千歳の福祉の増進に寄与することを目指す。

児童館・学童クラブについては、第1期受託期間最終年度であるため、運営方針である「地域に見守られる中で成長する子どもの活動拠点づくり」が実現できているかの検証を含めながら、令和6年度からの第2期受託期間の獲得に向けて、千歳市及び地域からの信頼を積み上げていく。さらに、令和5年4月より、こども家庭庁が創設されることに伴い、今後の国全体の子どもの政策の動向には注意深くアンテナを張る必要があり、社会のニーズに速やかに応えられるよう、瞬発力及び職員の資質向上に力を入れる。

重点目標

地域活動等事業	<ul style="list-style-type: none"> □千歳市及び周辺市町村の資源の発掘及び連携 千歳の企業、団体との協働によって子ども・若者を対象とした事業を実施することで、千歳市の福祉の増進に寄与するとともに、児童館・学童クラブ、青少年会館の利用促進へと導くことで、誰一人取り残さない支援の実現につなげる。事業の実施については、千歳の社会課題のニーズを把握するとともに、課題解決に向けて専門性を生かすことで千歳事業所を拠点とした財団の活動拡大へと貢献する。
施設運営等事業	<ul style="list-style-type: none"> □子ども・若者を主体とした施設運営（子どもの権利の推進） □子ども・若者支援事業の推進（福祉的機能の強化） □地域とつながり、子ども・若者の居場所としての認知度の向上

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数

令和5年度	児童館・学童クラブ 201,800人 青少年会館 13,500人	令和4年度	児童館・学童クラブ 195,157人 青少年会館 12,200人
-------	-------------------------------------	-------	-------------------------------------

②事業プログラム参加者総数

令和5年度	児童館・学童クラブ 11,440人 青少年会館 10人	令和4年度	児童館・学童クラブ 6,265人 青少年会館 未実施
-------	--------------------------------	-------	-------------------------------

③利用者アンケートにおける満足度

令和5年度	児童館・学童クラブ 90% 青少年会館 90%	令和4年度	児童館・学童クラブ 92% ※青少年会館については集計中
-------	----------------------------	-------	---------------------------------

【部門目標】

①連携事業に向けた千歳市周辺企業等への訪問

令和5年度	28団体	令和4年度	18団体
-------	------	-------	------

②企業・団体等との連携事業参加者数(新規)

令和5年度	延べ250人
-------	--------

③子ども運営委員会企画事業の実施数(新規)

令和5年度	38回
-------	-----

④＜青少年会館＞若者支援における協力関係の構築を目的とした関係機関等への訪問

令和5年度	10件
-------	-----

⑤＜青少年会館＞自主事業実施件数(事業所内部門連携)

令和5年度	3件
-------	----

事業内容	時期・回数
<p>1 青少年活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館事業 ・ 学童クラブ事業 ・ 子育て支援拠点事業 ・ 中・高校生事業 ・ 子ども運営委員会 <p>2 体験機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千歳事業所主催事業 ・ 他部門連携事業 ・ 地域企業連携事業 ・ 大学等との連携事業 ・ 他都市連携事業 ・ 遠足学習事業 ・ 講習会（遊び・食育等をテーマとした講習会） ・ 季節・伝承行事（ハロウィン、アイヌ文化事業等） ・ 野外・自然体験活動（花壇整備、水遊び、遠足等） ・ 鑑賞会（人形劇、バイオリンコンサート、絵本の読み聞かせ等） ・ 学習・体験活動（勉強タイム、施設見学等） ・ 体力増進・スポーツ（スポーツ大会、体力測定、カローリング等） ・ 広報活動 ・ 調査・研究事業 ・ 地域交流事業 ・ 体験・発表活動 ・ 児童館運営協議会 ・ 11 館合同児童館まつり ・ 利用促進事業 ・ 千歳事業所内部門連携事業 <p>3 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館・学童クラブ運営に関する事業 ・ 危機管理事業 ・ 貸室事業 ・ 支援・相談事業 ・ 地域若者サポートステーションの紹介及び就労に関するセミナー 	<p>※実施時期・回数については各館により異なるため省略</p>



千歳市児童館・学童クラブ
千歳市青少年会館
×SDGs

1 貧困をなくそう



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリシップで目標を達成しよう







公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 その他法人の目的を達成するために必要な事業

事業方針

豊かな子ども文化に彩られた未来創造のまち・さっぽろ

やまびこ座、こぐま座が担うべき役割は、社会的情勢や行動変容に伴い変化し続けている。これまでの、多くの子どもたちが人形劇や児童劇等の生の芸術文化に触れる機会の提供を中心とした「鑑賞型事業」から、近年の生活様式の変容や人口減少に伴う子どもの数の減少によって「体験型事業」にシフトしてきた。そして、これからはSDGs（持続可能な開発目標）が示す“誰一人取り残さない”世界を目指すための共生社会の構築、多様な価値観を許容できる社会づくりに文化芸術が貢献していかなければならないと考える。子どもから大人まで様々な人間同士がお互いを理解し合い、ともに創造的な活動を行うことで心豊かな活力ある社会形成につなげていく。

重点目標

等事業 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> □子ども文化の創造と発信による新たな可能性 <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼事業、連携事業 ・専門アーティストとの協働 	
等事業 施設運営	<ul style="list-style-type: none"> □夢と笑顔と人が集いあう劇場づくり □共生社会の実現に向けた劇場運営 □子ども文化の裾野を拓げていくための人材育成の取組 □子どもたちへ芸術の鑑賞及び体験機会の拡充 □こぐま座、やまびこ座、中島児童会館の3施設連携による事業の拡充 	

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数

令和5年度	70,000人	令和4年度	54,000人
-------	---------	-------	---------

②事業プログラム参加者総数

令和5年度	24,000人	令和4年度	19,700人
-------	---------	-------	---------

③利用者アンケートにおける満足度

令和5年度	90%	令和4年度	99.5%
-------	-----	-------	-------

【部門目標】

①新規人形劇団の誕生及び育成

令和5年度	3劇団	令和4年度	5劇団
-------	-----	-------	-----

②年間上演日数及び公演数

令和5年度	上演240日・公演400回	令和4年度	上演260日・公演数376回
-------	---------------	-------	----------------

③障がい児との文化芸術推進事業の実施

令和5年度	3事業	令和4年度	2事業
-------	-----	-------	-----

事業内容	時期・回数
<p>1 青少年活動支援事業</p> <p>(1) 人材育成事業 (一般対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者のための人形劇講座 ・人形劇スキルアップ研修 ・人形浄瑠璃講習会・義太夫講習会 ・劇団育成支援事業 ・中島児童会館一体連携事業 ①こどものまなび塾 ②こども文化セミナー 他 <p>(2) 人材育成事業 (子ども対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ざ・にんぎょうじょうりゆうクラス ・こぐま座こども人形劇団 ・パペットユーススクール ・野外人形劇シリーズ ・児童劇団育成事業 <p>2 体験機会創出事業</p> <p>(1) 地域連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまびこ座夏まつり ・札幌劇場祭 TGR 2023 ・中島児童会館・こぐま座開館記念祭「かもくま祭」 <p>(2) 公演事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統人形芝居公演「座・競演シリーズ」 ・やまびこ座プロデュース児童劇公演 ・第52回札幌人形劇祭 他 <p>(3) その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形劇観劇スタンプラリー ・市民ボランティア事業 ・こどもの劇場通信 ・やまびこ座こぐま座 LINE 通信 他 <p>3 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども劇場の管理運営業務、貸室事業、入場料の徴収 ・外部からの依頼事業・連携事業 ・専門アーティストとの協働 NEW! 広域文化支援ネットワーク形成事業 ・子どものための人形劇・児童劇公演 ・やまびこ座開館35周年記念事業「札幌国際人形劇フェスティバル」 ・野外人形劇シリーズ ・札幌市内児童会館人形劇クラブ育成事業 NEW! 障がい児との文化芸術推進事業 ・札幌劇場連絡会 ・中島児童会館・こぐま座資料室「MA・SO・BO」 ・企画展示 ・ゆきあかり in 中島公園 ・アンケート調査 ・札幌市こどもの劇場及び札幌市こども人形劇場運営協議会 ・利用者説明会 ・子どもに関わる舞台活動の拡充にかかわる情報の提供 ・指導・助言・相談業務 NEW! ・やまびこ座・こぐま座市民応援団「ヤッホーの会」 	<p>4～7月 13回</p> <p>6～3月 20回程度</p> <p>6～12月 各18回/通年</p> <p>8～1月 20回/通年 3回</p> <p>6～12月 18回</p> <p>5～3月 40回/6～1月 30回</p> <p>5～9月 10回/5～3月 68回</p> <p>8月1回(2日間)/11～12月1回</p> <p>7月1回(2日間)</p> <p>10～3月 4回</p> <p>5月 2回</p> <p>11月1回(3日間)</p> <p>通年/通年 72回</p> <p>通年 年6回発行/通年</p> <p>通年</p> <p>通年 15回</p> <p>8月・10月 2回</p> <p>随時 3回</p> <p>通年 400回</p> <p>7～3月 68回</p> <p>5～9月 10回/5～3月</p> <p>通年 3事業</p> <p>通年</p> <p>通年 14回</p> <p>通年 3回/2月2回/通年</p> <p>10月・2月 2回</p> <p>12月・2月 各施設1回</p> <p>通年</p> <p>通年 20回</p> <p>10月・2月 2回</p>

札幌市こどもの劇場やまびこ座
札幌市こども人形劇場こぐま座

× SDGs





公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 その他法人の目的を達成するために必要な事業

Youth+の賑わいを取り戻す

事業方針

「Youth+の賑わいを取り戻す」を方針に掲げ、年齢や興味関心の異なる多様な若者が自己実現のための取り組みや若者同士の活動を自由に楽しめる活気ある空間として、人を引き付ける魅力あふれる施設づくりの展開を推進する。そのために、ユースワーカーとしての個性を養い、輝かせるとともに時代のニーズを取り入れ、Youth+としての足場を改めて固め直す施設運営及び事業展開を推進する。また、多様な若者が自らの人生を豊かに過ごす居場所としての賑わいの創出を目指し、以下の重点目標に沿って事業展開を推進する。

重点目標

地域活動等事業

- 若者の住居支援事業「いとこんち」
家庭からの自立を必要とする若者や児童養護施設等を退所した若者への自立支援を目的とし、生活活動機会及び自立に向けたサポートを行う。
- ヤングケアラー交流サロン（こども事業課との協働事業）
家事や家族の介護を担う18歳以下のヤングケアラー当事者への支援として、居場所提供のみならず、相互に悩みや自身の置かれた環境について意見交流・情報交換を行い精神的な安心感を得て、気軽に過ごせる居場所の提供を継続的に行う。

施設運営等事業

- 若者の多様なニーズや価値観にユースワーカーが寄り添い、多くの人々が集い、人と人とのつながりによって魅力あるYouth+を目指す。
- Youth+の「社会的役割」や「質的評価」の認知を広めるためのユースワークを実践する。
子ども・若者当事者のアドボカシーの推進ならびに地域とともに実践するユースワークの推進を行う。

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数

令和5年度	230,000人	令和4年度	210,288人
-------	----------	-------	----------

②事業プログラム参加者総数

令和5年度	40,000人	令和4年度	39,938人
-------	---------	-------	---------

③利用者アンケートにおける満足度

令和5年度	98%	令和4年度	98%
-------	-----	-------	-----

【部門目標】

①利用者証の発行を受けた若者等登録者数

令和5年度	16,000人	令和4年度	11,305人
-------	---------	-------	---------

②若者等登録者の延べ利用者数

令和5年度	200,000人	令和4年度	154,646人
-------	----------	-------	----------

③新規に相談を受けた自立支援登録者数

令和5年度	400人	令和4年度	400人
-------	------	-------	------

④進路決定及び適切な支援機関につながった困難を有する若者数


令和5年度	345人	令和4年度	301人
-------	------	-------	------

⑤交流促進プログラムに参加した若者の延べ人数

令和5年度	5,000人	令和4年度	6,027人
-------	--------	-------	--------

⑥社会活動及び育成プログラムに参加した若者の延べ人数

令和5年度	600人	令和4年度	1,830人
-------	------	-------	--------

事業内容	時期・回数
<p>1 体験機会創出事業</p> <p>(1) 自立支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援相談 ・ 自立支援プログラム ・ 社会体験機会創出事業 ・ 中学校卒業生等進路支援事業 ・ 広報セミナー ・ 地域若者サポートステーション事業 ・ 子ども・若者支援地域協議会 ・ 情報コーナーの設置 ・ ホームページ管理 ・ オンライン推進事業 他 <p>(2) 交流促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居場所拡充推進事業 ・ 若者団体ネットワーク構築 Youth+NET 構築 ・ 若者の交流相談（ロビーワークの実施） ・ アウトリーチ推進事業（出張ユースワーク／キッチンカー） <p>(3) 社会参加促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LGBTQ 推進事業（Youth+にじーず札幌） ・ アドボカシー推進事業 ・ 地域若者サポーターの獲得と協働 ・ 学習支援ボランティアの養成 ・ さっぽろ青少年女性活動協会連携事業 ・ ユースワーカー養成講座 他 <p>2 受託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域若者サポートステーション事業 ・ 白石区複合庁舎まちづくりイベント広場等管理運営事業 他 <p>3 調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ別調査研究 ・ 若者を取り巻く環境の調査（全国の実践者及び研究者との共同研究含む） <p>4 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者支援総合センター、若者活動センターの管理業務 ・ 若者施設貸室事業、物品貸出 他 <p>5 その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者支援施設運営協議会の設置と開催 ・ インターンシップ・実習生の受け入れ ・ 視察受入れと講師派遣 ・ 若者の住居支援事業「いとこんち」 ・ 環境への取り組み ・ ヤングケアラー交流サロン ・ 若者支援関連事業の受託 ・ フードパントリー事業 ・ システム環境の整備 ・ 飲料等の販売 他 	 <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 10校／134回</p> <p>通年 月1回</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 47回程度</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>7・11・3月 3回</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p> <p>通年 随時</p>

札幌市若者支援総合センター
 ・ 札幌市若者活動センター
 × SDGs





事業方針

財団内外から必要とされる課へ

社会情勢の変化を的確にとらえ、状況に合わせた内容での宿泊事業や、事業参加定員等を再検討し、利用者のニーズに合った自主事業を展開していく。また、事業の様子やノウハウを他課に発信することにより、各セクションとの連携を深め、活動協会全体の取り組みの領域を広げ、更なる地域社会への貢献を目指していく。収支バランスについては、自主事業数や受託事業を増やすことで適正化を図っていく。

重点目標

- 地域活動等事業
- 魅力ある施設周辺フィールドを生かした自然体験プログラムの提案等、PR 活動を進め、財団内外の新規、リピート団体の利用促進を図る。
 - 関連 NPO 団体との連携体制を強化し、効率的な施設運営、事業展開を目指す。
 - 自主事業の拡充や幅広い分野からの指導事業受託を図る。
 - 収支の適正化を図るとともに、補助金等の獲得や外部事業の受託を促進する。

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数

令和5年度	2,700人	令和4年度	2,595人
-------	--------	-------	--------

②事業プログラム参加者総数（主催事業）

令和5年度	1,000人	令和4年度	791人
-------	--------	-------	------

③参加者アンケートにおける満足度

令和5年度	95%	令和4年度	98%
-------	-----	-------	-----

【部門目標】

①財団内利用件数

令和5年度	45件	令和4年度	40件
-------	-----	-------	-----



事業内容	時期・回数
1 体験機会創出事業 自然体験活動事業 【幼児対象事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・たきの森のようちえん 他 【小学生対象事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・たきの森のがっこう ・たきの川のがっこう NEW! 遊習塾リトルキャンプ NEW! 遊雪塾リトルキャンプ ・チャレンジキャンプ ・課題を抱える青少年を支援する体験活動プログラム 他 【親子等対象事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーキャンプ 他 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動ボランティア登録事業 ・滝野自然学園利用促進事業 他 	5～3月 15回 6～2月 14回 6～8月 3回 8月 2回程度 3月 1回程度 7～8月 3回程度 未定 5～8月 2回程度 通年 20回程度 通年
2 職員派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> ・その他の指導業務 他 	5～3月 3事業程度
3 施設管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・滝野自然学園自主運営事業 	通年

滝野自然学園
 ×
 SDGs

4
質の高い教育を
みんなに

11
住み続けられる
まちづくりを

15
陸の豊かさも
守ろう

17
パートナーシップで
目標を達成しよう



事業方針

北方コンソーシアムによる安定的かつ持続可能な施設運営

特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザイン（以下、NPD）とともにコンソーシアム協定を結び、「北方コンソーシアム」という新たな体制で令和5年度より指定管理施設の管理運営が開始となる。北方自然教育園は札幌市の野外教育施設の一つとして、市内の教育機関を中心に自然体験活動の機会を、安定的に提供することを第一義とし、同じ目的のもとで相互に連携を図り、当財団の管理運営実績や健全運営のノウハウ、NPDの持つ農業に関する知識と経験、農業体験や自然体験への指導ノウハウ等を十分に活用して課題解決を促進し、安定的かつ持続可能な施設運営につなげていく。

また、学校教育のサポート施設として、直接体験の大切さを伝えるとともに、限られた時間の中で効果的な学びや体験ができるよう学校補助教材の開発、学校等の事前事後学習に活用できるよう水田や畑作、果樹の生育状況をブログやSNSを活用して発信し、理解と学びを深める機会を支援していく。

重点目標

等 地域
事 業 活 動

- 市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供する。
- 地域住民との関係性を深めるための地域活動へ参加する。

施設
運 営
等 事 業

- 小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供及び学習機会の強化を図る。
- 教材用生物の幼保小中学校への安定的な供給と事後支援の充実を図る。
- SNS、HPを活用した小中学校に対する事前及び事後学習の充実を図る。
- 利用者のターゲットごとに必要とする情報を整理、検証し、利用促進につながるリーフレットを作成する。
- 利用者が活用できる日常活動プログラムの充実を図る。
- 特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザインとの連携を図る。

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数

令和5年度	8,200人	令和4年度	8,100人
-------	--------	-------	--------

②事業プログラム参加者総数

令和5年度	600人	令和4年度	570人
-------	------	-------	------

③利用者アンケートにおける満足度

令和5年度	91%	令和4年度	90%
-------	-----	-------	-----

【部門目標】

①小中学校を対象とした体験農場実施校数（延べ数）

令和5年度	65校(2,600人)	令和4年度	64校(2,550人)
-------	-------------	-------	-------------

②学習館入館の料金収入維持

令和5年度	120千円	令和4年度	110千円
-------	-------	-------	-------

事業内容	時期・回数
1 体験機会創出事業 (1) 地域活動等事業 ・自然環境関連セミナー (2) 施設運営等事業 ①体験農場の機会提供に関する事業 ②生物教材提供に関する事業 ③自然体験学習の提供に関する事業 ・北方フルーツファーム ・北方ファーム ・自然素材のクリスマスリース作り ・新年しめ飾りづくり ・家族でわくわく貝化石観察会 ・自然体験工作会 ④市民の自主的な活動及び交流の支援 ・市民ボランティア事業 ・教育機関支援事業 ⑤自然体験や展示に関する相談業務 ⑥その他設置目的を達成するために必要な事業 ・社会的課題解決事業 ・他施設・団体連携事業 ・教職員研修事業 ・ロビー展示 ・大人の学び舎「山野草講座」 ・北方スノーシュー野鳥観察&自然散策 ・広報業務 ・調査・研究 ・ようこそ北方自然教育園	3月 1回 5～11月 随時 6月 1回 6、10月 4回 5、7、8月 6回 11月 1回 12月 1回 7月 1回 通年 随時 通年/通年 随時 通年 随時 通年 通年 随時 7月 1回 通年 随時 5月 1回 1～3月 随時 通年 随時 6、11月 5回
2 施設管理運営事業 ・北方自然教育園の管理運営	通年

札幌市北方自然教育園
 ×
 SDGs

4 質の高い教育をみんなに
 11 住み続けられるまちづくりを
 12 つくる責任 つかう責任
 15 陸の豊かさも守ろう
 17 パートナリシップで目標を達成しよう





公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1 その他法人の目的を達成するために必要な事業

事業方針

野外教育施設として求められる新たな価値の創造と実現

豊かな自然環境や環境資源を最大限に活用し、誰もが身近に自然体験活動ができる市民開放型の野外教育施設として新たな価値の創造と実現を目指す。

多様化が進む利用ニーズや社会情勢の変化をとらえた自然体験活動を展開し、自然とふれあい、自然に対する興味関心と理解を深める施設運営を進めるとともに、自然体験活動から気づきと学び、人と自然のつながり、人と人のつながり、持続可能な社会と未来を創造する人づくりにつながる機会を提供する。

また、札幌市の生涯学習の推進に関連する諸施策を踏まえ、札幌市の野外教育施設として、社会的課題解決と公の施設としてのサービス向上の取組を実践する。

重点目標

- | | |
|---------|--|
| 地域活動等事業 | <ul style="list-style-type: none"> □ 札幌市児童会館・千歳市児童館利用の児童に対し、野外体験活動・環境教育プログラムの機会を提供する。 □ 地元地域（定山溪地区及び札幌市南区）の児童に対し、野外体験活動・環境教育プログラムの機会を提供するほか、協働でプログラムの開発などを行う。 |
| 施設運営等事業 | <ul style="list-style-type: none"> □ 定山溪自然の村の特色ある環境資源を最大限活用し、自然体験活動で気づきと学びの仕掛けづくりを進め、自然から学ぶ機会を提供する。 □ 自然体験活動をとおして、豊かな家族の時間、グループの時間等、すべての定山溪自然の村利用者の利用ニーズと充実した価値のある時間を提供する。 □ 自然体験活動をとおして豊かな心と人の育成を行う。 □ 地域住民、地域団体、関係団体と連携し地域に根差した運営を行う。 □ 定山溪自然の村の活動促進に協力してくれる人材の活動を支援する。 □ 施設の利用促進を図る。 □ 利用者が安全安心に利用できるよう点検強化や小規模修繕等の施設管理を計画的かつ効率的に行い、限りある予算の中でより良い成果を得られる運営を行う。 |

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数

令和5年度	18,800人	令和4年度	13,700人
-------	---------	-------	---------

②事業プログラム参加者総数

令和5年度	4,500人	令和4年度	4,210人
-------	--------	-------	--------

③利用者アンケートにおける満足度

令和5年度	98%	令和4年度	99%
-------	-----	-------	-----

【部門目標】

①気づきと学びの事業 セルフプログラムにおける満足度（新規）

令和5年度	85%
-------	-----

②セルフモニタリング調査（実施件数）

令和5年度	400件	令和4年度	400件
-------	------	-------	------

③実践型森林環境教育に関わる事業及び体験活動の推進（参加人数）

令和5年度	2,000人	令和4年度	1,100人
-------	--------	-------	--------

④利用料金収益

令和5年度	19,093千円	令和4年度	13,481千円
-------	----------	-------	----------

事業内容	時期・回数
<p>1 体験機会創出事業</p> <p>(1) 地域活動等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌市児童会館・千歳市児童館連携事業 地元地域連携事業 <p>(2) 施設運営等事業</p> <p>①自然体験活動のため、定山溪自然の村を利用させ、必要な指導助言を行う事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「気づきと学び」プログラム提供事業 ガイドプログラム提供事業 アウトドアクッキングプログラム提供事業 <p>②自然体験活動の普及振興に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 初心者向けアウトドア体験事業 幼児親子向け野外活動体験事業 専門家協働事業 ボランティアスタッフ育成事業 インターンシップ <p>③自然体験活動に関する調査研究、資料の収集及び提供に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報交流事業 調査・研究 <p>④定山溪自然の村の設置目的を達成するために必要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 野外活動物品等提供業務 教育機関利用提案・支援事業 団体利用提案・支援事業 団体指導事業 アウトドアスタイル提案事業 他施設・他団体連携事業 社会的課題解決事業 フェスティバル事業 広報プレスリリース <p>2 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 定山溪自然の村管理業務、貸室事業 	<p>通年 14 館程度 通年 回数未定</p> <p>通年 通年 通年</p> <p>夏季・冬季 4 回程度 通年 4 回程度 通年 7 回程度 通年 随時</p> <p>通年 通年 モニタリング 400 件</p> <p>通年 通年 通年 通年 時期未定 年 2 回程度 通年 通年 時期未定 1 回 通年</p> <p>通年</p>

札幌市定山溪自然の村

×

SDGs

4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナースHIPで目標を達成しよう







公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1 その他法人の目的を達成するために必要な事業

事業方針

体験をとことん楽しむ“探究の家”

興味関心を出発点とし、楽しみながら物事の本質を探る体験を大切に、体験活動をとおして、共生に必要な感度と利他的な精神を育むことによる人づくりを進めていく。市民に選ばれ続けるためにニーズに反応するセンスを磨き、対応スキルを充実させ訴求力・事業魅力の増進を図っていく。また、利用者・ボランティア等、内外を問わずあらゆる関係者に山の家の愛好層、山の家で活躍したい人々を生み出すため、コミュニケーションを積み重ね、関係性の構築・発展を目指す。

生産性の向上を目指し、「ムリ・ムダ・ムラ」が生じないよう業務効率化を進め、指定管理期間全体を見据えながら、収益状況の変化に合わせ、計画的に予算執行を行う。

重点目標

地域活動等事業

- 体験機会を保障するため、より多くの対象に自然体験・生活体験プログラムを提供する。

施設運営等事業

- 利用増へ向けて、利用者・参加者に寄り添う姿勢を第一に、体験プログラム・利用環境・利用支援の改善を推進し、訴求力を向上させる。
- 拠点施設として、体験プログラムの効果を検証し発信することで、情報発信力を強化する。
- 利用に伴う収益の回復へ向けて、効率的に営業活動を推進する。
- 共にウェルビーイングな社会を作っていくパートナーとして、部門内外、他団体、地域との関係性の構築・発展を目指す。
- デジタルリソース・データを最大限活用し、効率的・効果的な運営を目指す。

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数

令和5年度	50,000人	令和4年度	46,600人
-------	---------	-------	---------

②事業プログラム参加者総数

令和5年度	14,000人	令和4年度	13,400人
-------	---------	-------	---------

③利用者アンケートにおける満足度

令和5年度	97%	令和4年度	96%
-------	-----	-------	-----

【部門目標】

①利用のしやすさに対する満足度

令和5年度	95%	令和4年度	95%
-------	-----	-------	-----

②職員の接遇満足度（新規）

令和5年度	99%
-------	-----

③活動プログラムの満足度（新規）

令和5年度	98%
-------	-----

④実利用人数

令和5年度	30,000人	令和4年度	26,400人
-------	---------	-------	---------

⑤閑散期の一般利用団体数

令和5年度	30団体	令和4年度	17団体
-------	------	-------	------

⑥市内小学校を除く宿泊利用団体数（新規）

令和5年度	100団体
-------	-------

⑦省エネルギーの推進による電気・灯油・水道使用量（%）（新規）

令和5年度	▲5%
-------	-----

事業内容	時期・回数
<p>1 体験機会創出事業</p> <p>(1) 利用支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同説明会 ・合同下見会及び個別下見対応事業 ・出前授業 ・学校利用抽選及び利用日選定 ・自然体験プログラム提供事業 ・生活体験プログラム提供事業 <p>(2) 体験活動の普及・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人も子どもも宿泊学習 ・空き室活用事業 ・札幌市林間学校 ・プログラム体験会 ・地域連携事業 ・冬の自然体験フェス <p>(3) 社会課題に基づく事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Re:滝野宿泊学習 ・防災体験事業 ・生物多様性に係る事業 <p>(4) 指導者養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動支援事業 ・インターンシップ受け入れ事業 ・指導者ワークショップ <p>2 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年山の家管理業務 ・青少年山の家貸室事業、物品貸出等 	<p>通年 年 16 回</p> <p>個別 通年／合同 年 7 回</p> <p>通年 100 校</p> <p>4 月 (抽選) / 5・6 月 (選定)</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>6 月・11 月 2 回</p> <p>通年 10 回</p> <p>7 月・1 月 各 3 回</p> <p>随時</p> <p>通年 5 回</p> <p>1 月 1 回</p> <p>時期未定 1 回</p> <p>通年 2 回</p> <p>通年 2 回</p> <p>通年</p> <p>適宜</p> <p>随時</p> <p>通年</p> <p>通年</p>

札幌市青少年山の家 × SDGs

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさも守ろう

17 パートナリシップで目標を達成しよう



事業方針

まちの活力を高める活動の拠点～多様性に富んだ市民との共創～

時代の流れとともに予測困難な事態に遭遇することを視野に入れ、あらゆる課題に対応できるよう社会の動きを敏感にとらえ、問題解決に向けた能力を高めていく。活力ある地域社会の実現に向けて、市民や市民団体のニーズが多様化、複雑化する中で必要な情報を的確に提供するとともに、共通の目的を持つ個人や団体をつなげる。また、新たなコミュニティの形成に向けて視野を広げ、各々が特性を生かした関係性を維持できるよう支援していく。運営にあたっては、複合施設としての利点を生かし、各業務の適正化・共通化に努めるとともに、原価意識を高め、業務の効率化を図ることでコストダウンにつなげ、資金を適正に管理する。

重点目標

地域活動等事業	<p>次の時代を見据えて受託事業等に取り組み、ノウハウの蓄積や国や関係機関との連携を意識した事業展開を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難を抱えた若年女性支援業務（札幌市子ども未来局子ども育成部） ・ 困難を抱える女性に対する支援業務（札幌市市民文化局男女共同参画室）
施設運営等事業	<p><男女共同参画センター事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールモデルや好事例の発掘に向けて、人が集まり、コトが起きる場を創出する。 <p><市民活動サポートセンター事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材確保や後継者不足を解決するため次世代層及び既に活動を行っている方の支援を行う。 ・ 市民協働による参加型事業の積極的実施、情報交換・共有の場の提供を進め運営力強化を支援する。 <p><環境プラザ事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs やカーボンフリーといった環境問題への関心がより高まるタイミングをチャンスととらえ、こうした大枠のテーマに沿った情報提供を軸として、幅広い層に対するアプローチを行う。 <p><情報センター事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エルプラザの各施設へつなげる媒介者として、市民に情報、知識、学びの機会を提供する。

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①利用者総数			
令和5年度	462,000人	令和4年度	440,000人
②事業プログラム参加者総数			
令和5年度	16,500人	令和4年度	43,160人
③利用者アンケートにおける満足度			
令和5年度	総合 86%	令和4年度	施設満足度 90% 接遇満足度 90%
①男女共同参画に関わるロールモデル、事例の発信（新規）			
令和5年度	10件		
②市民活動啓発事業の実施/市民活動相談件数			
令和5年度	9回/650件	令和4年度	9回/600件
③環境活動の機会提供			
令和5年度	55回	令和4年度	56回
④情報センター利用後、エルプラザの施設・事業を利用・参加した人数（新規）			
令和5年度	30人		

事業内容	時期・回数
<p>1 市民活動振興事業</p> <p>(1) 活動支援事業</p> <p>[男女共同参画センター事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難を抱える若年女性支援業務 ・ 子ども・若者のためのエンパワメント事業 ・ ジェンダー・イシュー事業 ・ 性的マイノリティ電話相談業務 NEW ・ アウトリーチ事業 ・ 託児事業 ・ 健康支援事業 ・ 企業向けセミナー NEW ・ 誰もが働きやすい環境作り事業 ・ 調査・研究事業 ・ 情報収集・提供、広報・啓発事業 ・ 団体への支援 ・ 団体とのネットワーク構築・強化 ・ 運営協議会 ・ 相談窓口 他 <p>[市民活動サポートセンター事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌駅前通地下歩行空間「市民まちづくり活動情報コーナー」における広報事業（継続） ・ 特定非営利活動促進法所轄庁補助業務（継続） ・ スタートアップ支援講座 ・ フォローアップ講座 ・ 次世代層向け市民活動促進サポート ・ 人材養成事業 ・ NPO との出会い創出事業 ・ NPO との協働・共創促進事業 ・ 市民活動相談 ・ NPO 専門相談（税務・会計・法律・労務） 他 <p>[環境プラザ事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもエコクラブ札幌事務局業務 ・ コーディネート業務 ・ 環境教育リーダー派遣制度 ・ 環境保全アドバイザー派遣制度 ・ 環境関連施設との連携事業及び環境中間支援会議北海道への参画 ・ 講座・研修・交流会 他 <p>(2) 職員派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中・高校生への学習対応業務 他 <p>(3) 情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Web コンテンツ拡充業務 ・ 情報コンシェルジュ業務 ・ 図書管理業務 ・ 共催・協力事業 ・ 札幌エルプラザ公共4施設スタディーツアー事業 他 <p>2 施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エルプラザ公共4施設の管理業務 ・ エルプラザ公共4施設の貸室事業、物品貸出 他 	<p>通年</p> <p>通年 8回</p> <p>通年 5回程度/通年</p> <p>通年 22回/通年 10回</p> <p>9月 1回/通年 6回</p> <p>通年/通年 1回</p> <p>通年 12回/7月・2月 2回</p> <p>通年/通年 2回/通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年 複数</p> <p>通年 3回</p> <p>7~12月 複数</p> <p>通年 3回</p> <p>通年 複数</p> <p>通年 6回</p> <p>通年 53回/通年 26回</p> <p>通年 随時/通年 随時</p> <p>5~3月 80件/40件</p> <p>適宜</p> <p>通年 2回</p> <p>通年 25回</p> <p>通年 随時</p> <p>8月・12月 2回/通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p>



NEW

NEW

NEW

札幌エルプラザ公共4施設 × SDGs

4 障の無い社会をみんなに

5 ジェンダー平等を實現しよう

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

11 日本だけられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

事業方針

財団内外から必要とされる課へ

急速に変化する社会情勢に伴い、社会全体や地域・個人レベルに至るまでさまざまな考え方があり、課題やニーズも多様に広がっている。その課題やニーズを的確にとらえ、当財団が担うべき役割を見極めて事業化するなどの取り組みを行う。同時に、他部門との連携を深め、多岐にわたるセクションの強みをつなぎ合わせ、より大きな事業展開を図る。それらの取り組みを積極的に財団内外に発信し、当財団の認知度を高め、社会的価値を高めることにつなげていく。また、経費についても収支バランスの適正化を進めていく。

重点目標

地域活動等事業

- 社会的課題解決に向け、受託事業に加えて自主的事業を実施する。
- 「広報事業」の内容精査により財団内での役割を明確化し、財団全体のブランディングの方向性を検討する。
- より多くの部門との連携を促進させ、業務の幅を広げるとともに、財団内での相乗効果を図る。
- 収支の適正化を図るとともに、補助金等の獲得や外部事業の受託を促進する。

数値目標

【共通目標】*令和4年度数値は見込数を記載

①事業プログラム参加者総数（主催事業）

令和5年度	3,120人	令和4年度	78人
-------	--------	-------	-----

②利用者アンケートにおける満足度（主催事業）

令和5年度	93%	令和4年度	※回収率が低いため算出不可
-------	-----	-------	---------------

【部門目標】

①イベント収益総額

令和5年度	76,000千円	令和4年度	64,830千円
-------	----------	-------	----------

②他課連携事業回数

令和5年度	10回	令和4年度	8回
-------	-----	-------	----

③自主事業実施回数（新規）

令和5年度	2回
-------	----



事業内容	時期・回数
<p>1 民間企業等から受託するイベント</p> <p>(1) 受託事業(受託型イベント事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニさっぽろ ・アウトドアフェスタ ・下水道科学館フェスタ ・さっぽろ雪まつりつどーむ会場制作運營業務 ・雪まつり 10 丁目制作業務 他 <p>(2) 企画提案事業(公募型プロポーザル方式事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道フェスタ ・次世代の活動の担い手育成事業 他 <p>(3) 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳カヌー事業 他 <p>(4) 広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども情報紙「あそぼ」発行 ・職員向け広報「きょうかいナウ」発行 <p>(5) 調査・研究事業</p> <p>(6) 作業従事者安全衛生教育事業</p> <p>(7) 他課連携事業</p> <p>2 物品貸与等事業</p> <p>(1) 活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当財団管理施設への物品貸出 他 	<p>随時</p> <p>随時</p> <p>随時</p> <p>年 6 回 年 12 回</p>

イベント事業 × SDGs

4 質の高い教育をみんなに
11 日本続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさも守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう



Ⅶ 基金事業

(1) こども基金「さっぽろスマイルキッズ」事業

子どもの健全育成に関する事業や地域活動推進事業等の継続的な活動に対する支援を行い、子どもが健やかに成長していくために地域社会がともに助け合い、支え合う環境の醸成に寄与することを目的に実施する。



【助成事業】

対象分野／子どもの健全育成事業、子どもの地域活動推進事業

事業区分／①滝野自然学園活用型事業→滝野自然学園を会場に事業を実施する団体
②一般活動事業→滝野自然学園以外で事業を実施する団体

助成事業実施期間／令和5年5月1日（月）～令和6年2月29日（木）

募集期間／令和5年3月13日（月）～令和5年4月14日（金）〆切

【その他】

子ども向け財団自主事業の実施 等

(2) こども若者応援基金「さっぽろユースチャレンジ」事業

すべての子ども若者が未来へ向けてチャレンジできる社会の構築をめざし、経済的困窮等により困難を抱える子ども若者の教育及び生活の安定に資することにより、社会的自立を支援することを目的に実施する。

事業区分／子ども・若者の居場所「いとこんち」事業
子ども・若者の社会的自立に向けた経済的な支援事業



Ⅷ 施設一覧

(1) 自主運営施設

	施設名	所在地	施設内容
1	滝野自然学園	南区滝野 106 番地	宿泊室、食堂／集会室、学習室、 野外炊事場等

(2) 指定管理施設

	施設名	所在地	施設内容
1	児童会館	札幌市内 109 か所	体育室、プレイルーム等
2	こども人形劇場こぐま座	中央区中島公園 1-1	ホール
3	こどもの劇場やまびこ座	東区北 27 条東 15 丁目	ホール、工作室、研修室、 会議室
4	若者支援総合センター	中央区南 1 条東 2 丁目	活動室等
5	アカシア若者活動センター	東区北 22 条東 1 丁目	活動室、和室、音楽室、 体育室等
6	ポプラ若者活動センター	白石区東札幌 2 条 6 丁目	活動室等
7	豊平若者活動センター	豊平区豊平 8 条 11 丁目	活動室、音楽室、体育室等
8	宮の沢若者活動センター	西区宮の沢 1 条 1 丁目	活動室、音楽スタジオ、 体育室等
9	北方自然教育園	南区白川 1814 番地	展示室、工作室、多目的室
10	定山溪自然の村	南区定山溪	コテージ、テントサイト、 野外炊事棟
11	青少年山の家	南区滝野 247 番地	宿泊室、研修室、多目的ホール、 野外炊事場等
12	男女共同参画センター	北区北 8 条西 3 丁目	研修室、会議室、料理実習室、 託児室、ホール等
13	市民活動サポートセンター	同上	事務ブース、会議コーナー等
14	環境プラザ	同上	環境研修室
15	消費者センター	同上	会議室、食材研究室
16	千歳市青少年会館	千歳市東雲町 1 丁目	体育場、研修室、集会室、和室

(3) 受託施設

	施設名	所在地	施設内容
1	ミニ児童会館	札幌市内 90 か所	小学校内併設
2	千歳市児童館・学童クラブ	児童館 10 か所 学童クラブ 18 か所	遊戯室、学童クラブ専用室等

IX 機構図

